

「被災地応援ツアー」を利用して行ってみっぺ! 福島旅プランニングのヒント

福島県は大きく 3つのエリアに分かれている!

福島県は、会津盆地を中心に広がる「会津」、阿武隈高地と奥羽山脈に挟まれた「中通り」、太平洋沿いの「浜通り」に分けられる。地域間の移動距離が長いいため、日帰りなら1エリア、1泊2日なら2エリアまでに絞るのがおすすめ。

東京から公共交通機関で どのくらいかかる?

中通りの郡山や福島へは、東北新幹線での移動がスタンダード。会津若松へは郡山駅でJR磐越西線に乗り換えて向かう。東京駅からの所要は約2時間50分。浜通りのいわきへは、東京駅からJR常磐線の特急に乗って約2時間20分で到着する。

1泊2日で訪れるなら どこがおすすめ?

歴史や文化を体感するなら、会津若松へ。鶴ヶ城や城下町の風情を残す七日町通り、郊外には東山温泉も。翌日は大内宿まで足を延ばせば、さらにレトロな旅を満喫できる。絶景を楽しむなら、磐梯高原でドライブがおすすめ。五色沼ハイキングやアクティビティ、高原リゾートなどでリフレッシュしよう。

日帰りで行くなら どこがおすすめ?

東京駅から乗り換えなしで移動できる白河や郡山、福島、いわきなどがおすすめ。新幹線や特急で気軽にアクセスできるので、日帰りでも王道スポットはおさえられる。桜や紅葉、桃の季節など、時期を狙って行く場合は時間に余裕をもってかけるのがベター。



あなたの思い出が福島の元気になる 被災地応援ツアーご利用方法

被災地応援ツアーとは

都内在住、在勤、在学の方を対象に、「被災地応援ツアー」事業に登録している取扱旅行会社が販売する福島県への旅行に対して、東京都が旅行代金を割引する制度です。

対象者

旅行商品お申込み・ご購入の都内在住、在勤、在学の方(証明書類の提示が必要です)

申込方法

「被災地応援ツアー」事業に参加登録している取扱旅行会社の窓口において「被災地応援ツアー」対象の旅行商品を購入してください。(各旅行会社によって取り扱う旅行商品やその実施時期が異なります。詳細は各旅行会社にお問い合わせください。)

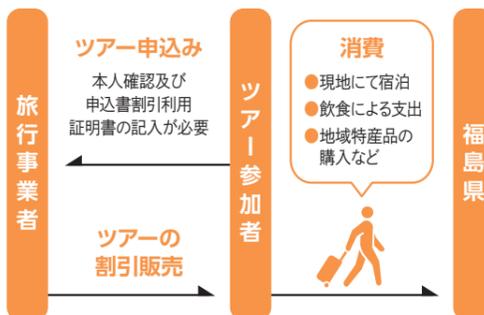
注意事項

- 旅行される方が、宿泊施設などへ直接予約を行うなど、取扱旅行会社を利用しない場合は「被災地応援ツアー」の割引の対象外となります。
- 予定している泊数・人数分の割引販売が完了した時点で終了となります。
- 詳細は「被災地応援ツアー」ホームページでご確認の上、取扱旅行会社にお申込みください。

割引詳細

宿泊旅行	日帰り旅行
1人1泊あたり 3,000円引き	1人1回あたり 1,500円引き

※1回の旅行につき2泊まで



ツアー取扱旅行会社ほか
詳細は「被災地応援ツアー」
ホームページをチェック!

<https://www.tcvb.or.jp/jp/fukushima/>



TCVB
公益財団法人 東京観光財団

今度の旅行は「福」に出会いに!

FUKUSHIMA 行って、みっぺ! 福島

東京から行く

被災地応援ツアー

宿泊旅行

1人1泊あたり※
3,000円引き

※1回の旅行につき2泊まで

日帰り旅行

1人1回あたり
1,500円引き

◆ 福島の旅を東京都が割引します ◆





動画でも チェック

左の二次元コードをスマートフォンで読み取り、📺のついた5つの画像にスマートフォンのカメラを近づけると、関連動画をご覧いただけます。

- ※動画再生中に画面をタッチすることで全画面に切り替わります。
- ※音が出ますので音量にご注意ください。
- ※動画の視聴には利用期限がございます。
- ※ご利用時にかかる通信料は各自のご負担となります。



1 季節ごとに愛でて**福** 花

福島県では、春の梅や桜から始まり、バラ、アジサイ、ヒマワリ、ソバなど、さまざまな花を鑑賞できる。見頃をチェックして、その時期にしか出会えない光景を目に焼き付けよう。

動画でもチェック📺

花見山公園

●はなみやまこうえん
福島市にあり、花卉栽培農家が一般公開している花の名所。梅、桜、レンギョウ、ハナモモなどが咲き、3月下旬～4月中旬が見頃

いわき湯本温泉

●いわきゆもとおんせん
毎分約5tの豊富な湯量を誇る古湯。JR湯本駅の周辺に温泉宿や共同浴場などがある



東山温泉

●ひがしやまおんせん
約1300年前に行基によって発見されたと伝わる。多くの文人が訪れた会津の温泉郷で癒やしの時間を

動画でもチェック📺

2 のんびり**福**の ひととき

温泉

全国トップクラスの温泉地数を誇る福島県。温泉街歩きが楽しい名湯、露天風呂が自慢の山あいの秘湯、開湯1000年以上の歴史をもつ古湯など、バラエティ豊かな温泉でリラックス。

福島

7つの

割引でよりお得に！
旅して応援！

で出会える

福

5 大自然の**福**吹く 絶景

全国で3番目に広い福島県には、ダイナミックな自然がいっぱい！山、海、高原、湖、渓谷など、あらゆる場所で感動的な絶景に出会える。



第一只見川橋梁

●だいいちただみがわきょうりょう
2022年10月に全線運転再開した只見線のビューポイント。道の駅 尾瀬街道みしま宿から徒歩10分ほどの場所に展望台がある



五色沼

●ごしきぬま
磐梯山の噴火によって形成された湖沼群。大小さまざまな沼を巡る散策路が整備されている

3 散策しながら歴史の**福** 街並み

戊辰戦争の激戦地となった会津若松や、江戸時代に宿場町として栄えた大内宿など、福島の歴史を伝えるスポットがあちこちに。レトロな雰囲気漂う街並みを散策しよう。



鶴ヶ城

●つるがじょう
赤瓦の天守閣をもつ会津若松の名城。近くには蔵や洋館が残る七日町通りなどもあり、城下町さんぽもおすすめ



大内宿

●おおうちじゆく
南会津にある人気観光地。茅葺き民家が並ぶ通りに郷土料理や民芸品など多彩な店があり、冬は雪まつりも開催される

動画でもチェック📺

4 みずみずしい味わいに**福** フルーツ

桃や梨、ブドウ、リンゴなど多彩なフルーツが栽培され、「フルーツ王国」とも称される福島県。なかでも桃は福島を代表する味覚のひとつで、シーズンは7月中旬～9月中旬。



桃スイーツ

●ももすいーつ
旬の時期には、果樹園や洋菓子店などで桃を贅沢に使ったスイーツが登場する

6 郷土の恵みを感じて**福** ご当地グルメ

エリアごとに風土が異なる福島県には、その土地ならではの郷土料理やソウルフードがたくさんある。麺、肉、海鮮など、各エリア自慢のご当地グルメをめし上げ！

動画でもチェック📺



常盤もの

●じょうばんもの
暖流と寒流がぶつかる好漁場・常磐沖の水産物は「常盤もの」とよばれ、いわき市などで味わえる



ふくしま餃子

●ふくしまぎょうざ
福島市民のソウルフード。円盤状に並べて焼いた餃子が主流で、酒のつまみとしても人気

喜多方ラーメン

●きたかたらーめん
日本三大ラーメンの一つといわれ、屋台生まれの「支那そば」がルーツ。喜多方では朝食として食べる「朝ラー」も日常的



7 かわいい姿を眺めて**福** 民芸品

古くから受け継がれる民芸品は、旅の記念やおみやげにぴったり。ほのぼのとした表情に癒やされよう。絵付け体験ができる工房もあるので要チェック！



赤べこ&起き上がり小法師

●あかべこ&おきあがりこぼし
会津地方に伝わる郷土玩具。赤べこはゆらゆらと揺れる首が特徴。起き上がり小法師は家族の人数より1つ多く買うのが会津の風習